

平成28年度

事務事業評価表 A (平成27年度の実績評価)

記入年月日
平成 28 年 4 月 1 日

Table with columns for 事務事業名 (Education-related activities), 事業区分 (New/Continued), 担当 (Responsible), 政策体系 (Policy Framework), 財務会計上の位置付け (Financial Accounting Positioning), and 予算科目 (Budget Items).

[Do] 1. 事務事業の現状把握(その1)

Table with 2 main columns: ①事務事業の概要 (Overview of activities) and ②担当者が行う業務の内容・やり方・手順 (Tasks and procedures).

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table showing performance indicators and trends for 26-30 fiscal years, including categories like ①手段 (Means), ②対象 (Targets), and ③意図 (Intent).

(3) 投入量(事業費)の推移

Table showing the trend of input volume (costs) for 26-30 fiscal years, broken down by source like 国庫支出金 (National Treasury Disbursement).

Table showing the internal breakdown of activity costs for 27 and 28 fiscal years, including 19 負担金補助及び交付金 (Grants).

Table for ④ 当該年度の実施内容 (Implementation content for the current year), detailing 28 and 29 fiscal years' activities with a main description and an arrow pointing to specific projects.

事務事業名	教育関係機関助成事業	事務事業No.	30102000915	所属課	教育指導課
-------	------------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？
 桜川市教育の振興充実を図ることを目的に平成18年5月から開始した。教育界では平成18年12月公布・施行された「教育基本法」をはじめとして、次々と法令等が施行あるいは施行されようとしている。現在は、新しい学習指導要領に向けた文部科学省の動向を踏まえた研究を推進している。

(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？
 補助金検討委員会では継続すべし。

(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	学校教育の充実と結びつく。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	これら事業に要する経費について、補助金を交付することは市教育委員会の責務である。
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)	<input type="checkbox"/> 向上余地がない	桜川市の教育振興を図るため、小中学校の全教職員により各教科・教科外の部会を組織し、各教科・教科外の研究研修事業や教育論文の募集などを実施している。
有効性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	廃止・休止すると教職員の資質の向上とともに児童・生徒の生きる力の向上が図れなくなる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む) (他に手段がある場合) → 具体的な手段、事務事業名)	<input type="checkbox"/> 余地がない	統廃合の可能性はない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない	最小限の補助金で事業運営している。事業費を削減することは、教職員の個人負担金を増額しなければならない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	川市の教育振興を図るための費用負担なので公平・公正である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																							
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	桜川市の教育振興を図るため、小中学校の全教職員により各教科・教科外の部会を組織し、各教科・教科外の研究研修事業や教育論文の募集などを実施し、論文が県の優秀賞を受賞するなど成果を上げた。今後も、この事業を継続して桜川市の教育の充実を図る必要がある。																								
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																							
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う → <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> <tr> <th rowspan="2"></th> <th>低下</th> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×		低下	×	×	×
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○	×																					
	低下	×	×	×																					
	(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		(6) 事務事業優先度評価結果																						
		成果優先度評価結果	⑤																						
		コスト削減優先度評価結果	⑧																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>